

第1回 近畿周産期こころのケア研修会のご案内

周産期はいのちが誕生し、ヒトが人として生きていく上で必要な何かが新しく育まれる時期です。ただ、生まれたてのやわらかい身体と心は脆さも孕み、赤ちゃんのみならずお母さんにとっても、とてもデリケートな状態です。特に赤ちゃんや出産に思わぬ事態が生じた場合には、身体も心も大きく揺さぶられて悲しみや不安に苛まれることも少なくありません。

周産期領域に関わる私たちは、この時期のやわらかでデリケートな親子の身体と心と関係性に寄り添いながら、その成長を包むように見守り支えています。ただ、そこに求められる視点と温かで柔らかな関わりが、実はとてもむづかしい・・・とも感じます。

そこで、周産期のこころのケアについて、改めて共に学ぶ機会をご用意しました。周産期に携わる臨床心理士・公認心理師の方をはじめとして、周産期のこころのケアにご関心をお持ちの方にも学んでいただきたくご案内申し上げます。第5回近畿周産期精神保健研究会との共催で、ワールドカフェの事例検討会、翌日のプログラム（要別途申込）も併せてご参加いただけますと幸いです。

日時：2020年2月29日（土） 9:30 ～ 11:30

会場：社会福祉法人石井記念愛染園付属愛染橋病院 4階会議室

大阪市浪速区日本橋5丁目16-15（地下鉄堺筋線恵美須町駅1B出口徒歩1分）

プログラム

I 総論：周産期のこころのケアについて

加古川中央市民病院

岡田 由美子

大阪市立総合医療センター

渡邊 通子

II 事例から学ぶ周産期の心理臨床（グループディスカッション形式）

高槻病院

小寺 智子

参加費：2000円（近畿周産期精神保健研究会参加の場合は、別途研究会参加費支払い）

募集人数：約50名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加資格：周産期領域で働く臨床心理士、公認心理師、及びこころのケアに関心をもつ他職種の方

参加申込み方法：近畿周産期精神保健研究会 HP（kspmh.net）から申込書をダウンロードしていただくか、裏面の参加申込書に必要事項を記載して、メール又はFAXにて、12月15日迄にお申し込みください。

申込み送付先：〒594-1101 和泉市室堂町840番地 大阪母子医療センター 看護部

近畿周産期精神保健研究会事務局

周産期こころのケア研修会（受付担当 川野由子）

Email: kspmh@wch.opho.jp

FAX: 0725-56-5682

共催：第5回近畿周産期精神保健研究会 後援：周産期心理士ネットワーク